



きよかわむら 社協だより

2016

11

No.183



手作り弁当が 笑顔と健康を つなぐ

福祉給食サービスは、調理を行う「食生活改善推進団体もみじ会」と配食に携わるボランティアの協力で、毎週水曜日と金曜日、栄養のバランスに配慮したお弁当をお届けしています。

福祉給食サービスのお弁当のおかずは野菜が多めで、調味料はこの家庭にもあるものを使い、保存料や添加物は一切使っていません。

もみじ会の山口江吏子会長は「コンビニのお弁当ではなく、手作りのお弁当を召し上がっていただきたい。食事の楽しみや、生きる力、健康になる体力をつけ、元気な笑顔になる源になれば嬉しいです」と話します。

先日、ある利用者から「自分ではなかなか作れない手の込んだ料理が食べられて嬉しい」「いつも楽しみに待っている」「毎日でもお願いしたいくらい」との言葉を頂きました。

お弁当を楽しみに待っている人がいるのは、もみじ会にとって大きな励みになっています。

11月号 おもな内容

- | | | | |
|-------------------------|----|--------------|----|
| ●特集 年末たすけあい運動 | 2P | ●デイサービス秋の運動会 | 3P |
| ●地域福祉サポーター養成講座 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座 | 3P | | |

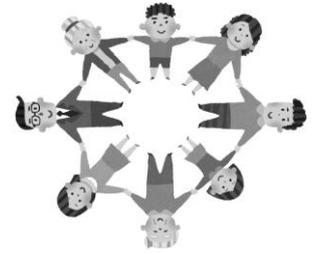
特集

年末たすけあい運動

【募金期間：11月中旬～12月上旬】

共同募金運動の一環である「年末たすけあい運動」は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉活動を重点的に展開する募金運動です。

今年度も自治会を通じて募金活動を行います。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



年末たすけあい募金の使いみち

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、支援の必要な世帯への配分

生活支援や激励を目的に、配分会議にて配分決定された世帯に対して、おせち料理の宅配や庭木の剪定など、生活支援に関するサービスを選んでいただき、年内に配分します。



障害者への配分

身体、知的、精神障害をお持ちの方を対象にクリスマス会(カラオケ等)を開催します。

日時 平成28年12月4日(日)
午前11時から午後2時頃まで

場所 清川村近隣のカラオケボックス

内容 カラオケ、食事等

対象 身体障害者手帳(1級～4級)、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方及びご家族

参加費 無料(付添者1人までは無料です)

申込み 平成28年11月18日(金)まで
※送迎有 要予約

申込み、問い合わせ先
清川村社協 担当 山口
☎046-287-1118

ひとり親世帯への配分

激励を目的に、配分申請があり、配分会議にて配分決定された世帯に対して、下記の金額を年内に民生委員・児童委員を通じて配分します。

1世帯につき、8,000円

※子2人目以降1名につき、2,000円を加算



ひとり親世帯の配分申請方法について

社協の窓口か郵便のいずれかの方法で申請してください。なお、申請いただいた内容の情報は、お住まいの地区の民生委員・児童委員並びに主任児童委員へ提供しますのでご了承ください。なお、申請の際には、「平成28年度児童扶養手当証書」の写しを添付してください。

【社協窓口での申請方法】

添付書類と印鑑をご持参の上、窓口までお越しいただき、申請いただきます。

開所時間 8:30～17:15(月～金曜日)

締切期日 12月9日(金)

【郵送での申請方法】

社協へ電話連絡いただければ、申請書をお送りしますので、申請書に必要事項を記載いただき、添付書類と一緒に郵送してください。

締切期日 12月9日(金) 必着

お問い合わせ先 清川村社協 担当：山口 046-287-1118

今こそ村での支え合いの

仕組みづくりを

～地域福祉サポーター養成講座～

自分が住んでいる身近な地域の課題を発見し、その課題を住民同士で話し合い、解決に向けて取り組める担い手になってもらおうと、10月7日、村保健福祉センターやまびこ館で『地域福祉サポーター養成講座』が村社協の主催で行われ、11人が参加しました。



講座の講師でNPO法人よこはま地域福祉研究センターの佐塚センター長は、「少子・高齢・人口減少社会の中で社会保障制度は改革が行われている。これは同時に私たちにも役割が求められるのです」と、今のうちに、地域での支え合いの仕組みを作る必要があると訴えました。また、小田原市で『草むしり』『家具の移動』等軽易な日常支援活動を実践されている「ささえあい久野・ひまわり会」の久保寺会長は、「難しく考えずにまずは取り組んで」と参加者へ呼びかけました。参加者は、「身近に迫っている話で参考になりました」「日常支援活動に対し謝礼をもらうのは良いと思う」と話していました。

災害ボランティアセンターを模擬訓練

～災害ボランティアセンター

運営スタッフ養成講座～

村社協主催の『災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座』第2回目が9月25日、村保健福祉センターやまびこ館で行われました。この日は、災害ボランティアセンターの模擬訓練ということで、今年度の受講者に加え、昨年度の受講者も応援に駆けつけ、『受付』から『マッチング』『帰着・フォロー』までの役割を体験しました。講師の『さま災害ボランティアネットワーク』の濱田代表は、「災害ボランティアセンターには多くのボランティアが駆けつけます。円滑にコーディネートするためには訓練を重ねることが大切です」と呼びかけました。



今年度の受講者は「なかなか思うようにできなかつた」と振り返り、応援に駆け付けた昨年度の受講者は「昨年の経験を少しは生かすことができた。今後訓練を重ね学んでいきたい」と意欲的でした。

赤勝で、白勝で!

みんなで楽しく体を動かしました

～デイサービス秋の運動会～



毎年恒例となりました「デイサービス秋の運動会」を10月7日に行いました。

白組優勝するぞー!

この鈴はなかなか
われないなー

赤白に分かれて、まずは利用者代表による力強い選手宣誓が行われ、ラジオ体操後、競技が開始されました。競技は、綱引き、パン食い競争、鈴割りなど、椅子に座ったままでも皆さんに楽しんでいただけるよう工夫を凝らしました。そうはいってもいざ競争となると真剣勝負。体を目一杯動かし、皆さん日頃のデイサービスでの体操の成果をいかに発揮されていました。

運動会終了後は、パン食い競争でのアンパンを皆さんで食べながら運動会の余韻に浸っていました。

ひきこもり地域支援センター事業 ひきこもり 地域青少年支援 フォーラム&個別相談会

ひきこもりを体験した人、支援者や家族の体験談を聞き、社会参加や自立にむけての方策を一緒に考えるフォーラムです。ひきこもりに悩む当事者やその家族、行政、地域関係者など多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成28年11月22日(火)
午後1時~午後4時30分
(受付12時30分から)

場所 秦野市保健福祉センター
3階 多目的ホール
住所：秦野市緑町16-3
電話：0463-84-5511

内容 1部 フォーラム(13:00~14:00)
「ひきこもり」のこと理解していますか?
講師 ひきこもり支援者・体験者の家族・体験当事者
定員 40名

2部 個別相談会
(対象は秦野、伊勢原地区の方)

※参加者の懇談会を併せて開催します

●懇談会への参加は自由です。

申込 下記までお申し込み下さい。
※11月18日(締切)

お申し込み、お問い合わせ先
県立青少年センター青少年サポート課
☎045-263-4467(月曜休み)

介護フェア in かながわ

11月11日の介護の日関連イベントとして、神奈川県では「介護フェア in かながわ」を開催します。県民の皆さんに介護の仕事の魅力を発信し、介護への理解や関心を高めることで、介護に携わる人材のすそ野を広げ、多様な人材の確保につなげるフェアです。

日時 平成28年11月23日(水・祝)
午後1時~午後4時30分

場所 新都市ホール(そごう横浜店9階)
横浜市西区高島2-18-1
横浜駅東口より徒歩5分

内容 ・ステージ&イベントコーナー
・介護福祉 就職・資格取得・相談コーナー
・体験コーナー
・介護ロボット・福祉機器の展示・実演コーナー

参加費 入場無料、入退場自由

お問い合わせ先
介護フェア in かながわ事務局
(神奈川県新聞社クロスメディア営業局広報部)
☎045-227-0783

宮ヶ瀬小学校児童のみなさんが歌や踊り、太鼓などを披露し、ディサービスを訪ねられました。この写真はその時の1枚。



今月のもう一枚

はあと うおーむ

2ページでご紹介しました、『年末たすけあい運動』で集まった募金は、全額が集めた地域の福祉事業に使われます。清川村では、11月から募金運動を開始し、配分会議を経て様々な事業に活用させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013